

第6回定例総会を開催

平成29年度の活動方針等を決定

鶴岡市農業委員会第6回定例総会が4月28日、出羽庄内国際村ホールを会場に開催されました。

総会では、今年度の委員会活動方針を含む5件の議案が上程され、審議の結果、全て原案どおり可決されました。

鶴岡市農業委員会第6回定例総会には、鶴岡市副市長、農林水産部長、農林水産部参事兼農政課長、農山漁村振興課長、農政課主幹を来賓に迎え開催され、鶴岡市農業委員会の「活動方針」と、「要望書」を審議し可決しました。

■鳥獣被害対策に関する要望書（鶴岡市長あて）

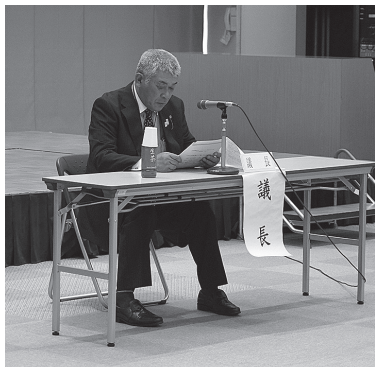
■農業生産工程管理（GAP）への理解と普及・拡大に関する要望書（鶴岡市長あて）

■若手農業者育成体制の強化と情報発信に関する要望書（鶴岡市長あて）

なお、今総会に提案されました議案は以下のとおりです。

■平成29年度鶴岡市農業委員会活動方針

■農業法人の支援等に関する要望書（山形県知事あて）



総会終了後は全員協議会が行われ、研修として農林水産部参事兼農政課長、農山漁村振興課長を講師に、農林水産部における本年度施策の考え方や、主要事業等について理解を深めました。

また、引き続き農業振興・担い手、営農、食育・地産地消の各専門委員会が開催され、今年度の活動計画等について話し合いが行われました。

なお、活動方針と要望書は農業委員会のホームページでご覧いただけます。

榎本市長へ 要望書を提出

6月14日に三浦伸一会長、渡部長和会長職務代理者、石川守東部農地部会長、今野喜好西部農地部会長、伊藤治一農業振興部会長の五役が榎本政規市長を訪問し、本総会において議決された要望の趣旨等を説明しながら要望書を提出しました。

榎本市長からは、「要望していただいた事項については、関係する部署等で検

討し、適切に対処していきたい。」との回答がありました。

農業委員会では、地域農業を守り、農業者の皆さんが意欲と希望を持って農業に取り組めるよう、今後も農業の現場における生の声を市及び国・県等の関係機関へ伝えていきます。

